

2022年10月5日(水)～2022年12月14日(水) (計6日間9時間)

## 〈講座概要〉

2011年3月11日の東日本大震災・原発震災の発災から11年目となり、被害や原因を究明する研究、加害の責任を問う裁判の判決が蓄積するいっぽう、熊本や大阪などでの地震被害、北陸新幹線長野車輛センター水没など国内各地での豪雨、台風被害が続いています。究明・対策はどこまで進んだのでしょうか。新しい連帯、支援活動も生まれています。最新情報をもとに、自然災害が映し出す日本社会の現実をみつめ、社会力アップの道筋をつくる場を開きましょう。

◆募集定員	15名
◆受講対象者	高校生, 大学生, 一般
◆受講料	6,300円
◆申込期限	2022年9月21日(水) 17:00
◆実施場所	五福キャンパス共通教育棟B棟1階 生涯学習部門第2学習室
◆特記事項	

## ◆講座内容

回数	期日	時間	題目	講師氏名	所属・職名
1	10月5日(水)	18:30～20:00	あのととき大川小学校でなにごとがおこったのかー究明続く津波被災因	林 衛	人間発達科学部・准教授
2	10月19日(水)		「1000年に1度」なのに多発ー温暖化・ダムによる浸水激甚化問題		
3	11月2日(水)		原発震災は何を奪ったのかー小児甲状腺がん多発・被災者置き去りの構造		
4	11月16日(水)		公害反対運動, 被爆者原爆症認定訴訟の遺産はいかせているか		
5	11月30日(水)		「人間を守れない」日本社会の改め方ー主権者としてつながる		
6	12月14日(水)		被災者支援のNPOの活動から学ぶもの	藤田公仁子	地域連携推進機構・教授

## 〈備考〉

・県民カレッジ単位：5単位

## ★講座のキーワード★

東日本大震災・原発震災, 自然災害激甚化, 人権尊重

## ★身につくスキル・目標★

科学と法理で具体事例を分析し, 共同的に問題解決に進むための知恵を育む。

## ★講師からの一言★

ほんとうのことが明らかにされ, 伝承されていくというのは, 意外とたいへん。だからこそしっかり取り組みたい! 事故の原因や責任をめぐる内容も盛り込みます。最新の判決の論点も追いかけています。